

子どもを持つ親の思いはみんな同じ

もし、私に何かあったらこの子はどうなるんだろう…
そう考えたことはありますか？
障がいを持つ子どもの親は常にこの不安を抱えながら子育てをしています。
でも、それって他人事でしょうか？
いつ自分が事故に遭い肢体不自由になるかもわかりませんし、
もしかすると、愛する家族や友人かもしれないのです。

色々な人がいて当たり前！！

「人はみんな違うって当たり前で、だからこそ世界は豊かである」ということをまずは我々大人が理解し、受け入れることは全ての子どもにとって確実にプラスになります。
こう考えたことはありますか？
自分が見えている色は本当に全ての人にとって同じ色に見えているでしょうか？
自分が聴こえている音は本当に全ての人にとって同じ音に聴こえるのでしょうか？
自分が感じる幸せを全ての人が同じに感じるでしょうか？
自分が信じる正義は全ての人にとって正しいことでしょうか？
みんな違うと思います。
そして、みんな違うから世界は彩り豊かで美しく、発展しているのです。

自分たちに出来ることは何？

下北地域には、児童精神科もなければ療育センターもありません。
通院や装具製作、リハビリのために毎月遠方まで出向かなければいけない状況です。
更に、狭い地域であるがゆえ、人目を気にしてたくさんの可能性を諦めている人が多いのです。
しかし、無いものを「無い無い」と言っていても何も始まりません。そうしている間に季節は変わり、子ども達は日々成長しています。
では自分たちに出来ることは何なのか？
まずは、それを考え、話し合える時間と場が必要だと考えます。

正しい知識と理解を！

子どもを育てる上で、たくさん悩み、泣き、その分の大きな喜びを経験してきた私達だからこそ出来ることは、当事者として声をあげ、多くの方を巻き込みながら共に学び、笑い、支え合う輪を広げていくことではないかと考えています。
今回企画した「普通に生きる」の上映会と林順一郎先生の講演会は、色々な障がいを持ちながらも前向きに生きる人達がたくさんいて、それを支えてくれる社会があるという現実を知っていただき、その上で何をしたら良いのかを考える第1歩にしたいと思っています。

たくさんの笑顔を生むために

全ての子どもに幸せに生きるチカラを！
全ての子どもに優しくて温かい眼差しを！
そして、懸命に子どもを育てている全てのお父さんお母さんに笑顔を！
今回クラウドファンディングを挑戦することになったのは、そんな強い願いからです。
ご理解ご協力いただけたと何よりも心強くなります。
どうぞよろしくお願ひいたします。

講師：林 順一郎 先生 プロフィール

生徒1人1人に合わせて構築したきめ細やかな校内支援体制は、子ども達はもちろん、保護者からの信頼も厚く、その共生社会の実現に向けた先進的な学校教育が評価され、平成28年全日本特別支援教育研究連盟 功労賞受賞。
今春定年退職された、前むつ市立苦生小学校校長。



主催者より

普通に生きる

静岡県富士市にある、生活介護事業所でら～とは、「どんなに重い障害を持っていても、本人もその家族も普通に生きてゆける社会をめざす」という理念のもと、親たちの努力で、ゼロから立ち上げた重症心身障害者のための通所施設です。

重症児の多くは、嚥下障害、呼吸障害等のため、日常的な介護として経管栄養、痰の吸引、酸素吸入等の医療的ケアを必要としています。そのため、でら～とには生活支援員の他に看護師も常勤し、毎日、それぞれの障害や個性に合わせたプログラムで日中活動を支援しています。

利用者は多くの人や地域との関わりの中で、社会性を見につけ、誰からも介護を受けられるよう成長していきます。そして親たちも、法制度の改革に波に揉まれつつも行政に働きかけ、自分たちのニーズにあった制度や施設づくりを行い続けてきました。

いずれは親も子もそれぞれの人生を明るく送れる地域社会づくりを目指して、「福祉の受け手から担い手となる」発想が、親たちの新しい未来を切り拓いてきました。映画は、2つ目の施設建設設計画が持ち上がった頃からの5年間を追います。



参 加 申 込 書

※参加・不参加を○で囲んでください。

<上映会> 参加・不参加

<講演会> 参加・不参加

<託児(限定10名)> 要・不要

※要の場合の希望人数(名)

ありがな	〒
氏名	住所
	連絡先
—	
—	

お申し込み FAX 0175-29-1649

Facebook
イベントページ URL



https://www.facebook.com/events/129331594336179/?active_tab=about

